

J P V Aメールマガジン【Y E H E Y ! J P V A : 6】

第6号

発行日：2008年2月6日

Y E H E Y ! J P V A 第6号

I N S I D E N E W S

J P V A ・ N O W ~ J P V Aプロジェクト（少数民族児童を対象とした識字教育）

シリーズ：～MKDの今～（教育里親制度～MKDの里子編～）

MKD 琴クラブコンサート無事終了！

お知らせ&募集

編集後記

1

J P V Aプロジェクト

宗教法人・真如苑助成事業

少数民族児童を対象とした識字教室

2007年11月7日、ミンダナオ国際大学学生・教員ボランティア34名による識字教室事業が

始まりました。事業の対象になるのは、ダバオ市東部沿岸の砂州に沿った不法占拠者居住地区の子供です。

その地区の住民は、同市のあるミンダナオ島西南部のムスリム（イスラム教徒）分離独立派とフィリピン国政府軍の紛争・治安の悪化を逃れて、治安が安定し、経済的に豊かな同市に移住してきた少数民族です。

続きはこちら

<http://www.jpva.org/pdf/mailmagazine/mm-davao6-1.pdf>

活動の報告はこちら

<http://www.jpva.org/mkd-news.html>

2

シリーズ：～MKDの今～

教育里親制度～MKDの里子編～

MKD（ミンダナオ国際大学）は、当協会のこれまでの活動の集大成として2002年に故内田あや子教育基金で創立された大学で、国際学科、福祉学科、教員養成学科の3学科があります。現在、1年生231名、2年生69名、3年生60名、4年生39名の計399名学生が学んでいます。

J P V Aでは会員の皆様にご協力頂き、教育里親制度を設けております。教育里親制度は会員の方に里親となって頂き、里子の学業を経済面から支援して頂く制度です。自力では学校に通うことのできない子どもたちが里子となり、里子となったMKDの学生はこの制度を利用し、学校に通いながら学業、奉仕活動に専念しております。

また、里子は里親と手紙やメールのやりとりから里親に自らの近況を報告しています。

今回は、里子のレポートをご紹介します。

「私のクリスマス」

クリスマスは一年の中で誕生日の次に待ち遠しい日です。この時期みんなが優しくなります。みんなの心が軽やかになります。みんながみんなにプレゼントをしたくなります。みんなの顔に笑顔が溢れる時期です。

続きはこちら

<http://www.jpva.org/pdf/mailmagazine/mm-davao6-2.pdf>

MKD (ミンダナオ国際大学) はこちら

<http://www.jpva.org/mkd.html>

3

MKD 琴クラブコンサート無事終了！

約700名の聴衆の前で日本の伝統楽器「琴」の演奏を披露！

2008年1月9日、ダバオ市内キャップ公会堂にて、在ダバオ日本国大使館出張駐在官連絡事務所およびフィリピン日系人会の後援のもと、当協会が支援をしているミンダナオ国際大学の、琴クラブによるコンサートが行われました。

コンサートには、同市一般高校生及び大学生、同市在住邦人、同市地方自治体関係者、およびインドネシアやマレーシアの外交使節団等約700名が集まりました。

ミンダナオ国際大学は、2005年1月、琴の師範である宮嶋和子先生を指導者として日本から招聘し、同校学生による「琴クラブ」を結成しました。

現在、同琴クラブには、同校の1回生から4回生まで23名在籍しています。当日は学生に加えて、宮嶋先生の日本でのお弟子さん4名も日本から参加しました。

続きはこちら

<http://www.jpva.org/pdf/mailmagazine/mm-davao6-3.pdf>

MKD 琴クラブコンサート報告はこちら

<http://jpva.org/mkd-news.html>

琴クラブコンサート映像はこちら

<http://jpva.org/video.html>

琴クラブコンサート当日プログラムはこちら
<http://jpva.org/mkd-news.html>

4

各種募集事項・お知らせなど

卒業式ツアーのお知らせ

J P V Aでは毎年、3月末に卒業式ツアーを開催しています。
今年も、同時期にM K Dの卒業式やY A G I幼稚園の卒園式に参加するツアーを計画中です。詳細は近日中にH Pにてご案内致します。3月27日から4月3日を予定しています。是非参加をご検討ください。

過去のツアーのページはこちら
<http://jpva.org/tour-kako.html>

デジタルカメラを寄付して頂けませんか？

ご家庭や職場などで使われなくなったデジカメを募集しています。集めたデジカメはM K D（ミンダナオ国際大学）に寄贈され、学生のボランティア活動など役立つ予定です。完全に破損してしまっているデジカメや動作しないものはご遠慮ください。また、事務局までの送料は恐れ入りますが各自ご負担頂きますようお願い申し上げます。

翻訳ボランティアをしていただけませんか？

教育里親制度では里子は里親の方に手紙を出しています。翻訳ボランティアの方には、里子の手紙の翻訳をお願いしております。事務局や自宅で里子の手紙を翻訳する作業です。ご参加頂ける方は下記までご連絡ください。お待ちしております。

連絡先

〒182-0006

東京都調布市西つつじヶ丘2 - 30 - 1

(特活)日本フィリピンボランティア協会事務局

TEL : 03 - 5384 - 9536

FAX : 03 - 3326 - 5037

E - MAIL : jpva@mua.biglobe.ne.jp

5

編集後記

メールマガジンも第6号の発行となりました。皆様、ご購入ありがとうございます。
2月になり寒い日が続きます。東京(調布市)は本日も雪が降っています。寒い日が、続きますがお体にお気をつけください。

さて、読売新聞(2月6日社説)によれば、アジアの各地で鳥インフルエンザの発生と、人への感染、死亡例が増えているそうです。インドネシアでは、毎日のように犠牲者が続き、鳥から人に感染し始めた2003年11月以降、犠牲者数は、今年、ついに100人を突破して世界の半数近くを占めるとあります。また中国では昨年12月に、父子の間で鳥インフルエンザの感染が起きて息子が死亡し、人から人へ鳥インフルエンザが感染する事態は、2006年のインドネシアでの発生例に続き4例目だ。記事で記されています。

<http://www.yomiuri.co.jp/editorial/news/20080205-OYT1T00636.htm>

環境問題にしても、この鳥インフルエンザのような感染症の問題にしても国境を越えて解決しなければならぬ問題がこれからますます増えていくと思います。

地球規模で物事を考えることが私たちに求められているのではないのでしょうか。

次回号の発行は2月下旬を予定しています。

皆さん風邪を引かないようにお体にお気をつけて、お過ごしください。

(事務局:長谷川大輔)

=====

【JPVAメールマガジン】2008年2月6日(第6号)

発行元:(特活)日本フィリピンボランティア協会(<http://www.jpva.org>)

編集担当:長谷川大輔

問い合わせ:東京事務局(中井・長谷川)

ご意見、ご感想:info-jpva@silk.plala.or.jp

JPVA入会案内:<http://www.jpva.org/jpvaoffice.html>

メールマガジンの解除、メールアドレスの変更:info-jpva@silk.plala.or.jp

お名前、解除または変更するメールアドレスを記入してください。

Copyright(C) Japan Philippines Volunteer Association 2008

掲載記事の無断転載はおやめください。